

馬場小室山遺跡 これまでの経緯

1984 浦和市郷土文化会（浦和市教育委員会内）が『馬場小室山遺跡』を出版。

1969～94 31次にわたり調査がなされる。

史跡公園とする構想を念頭に、現況のまま地権者より浦和税務署に物納される。

2003.6 財務省関東財務局が「競売」の看板を立てる。

2003.8 縄文遺跡の森の保全を求める地域住民を中心とした約5500人の署名簿を関東財務局とさいたま市に提出。

2003.10 民間業者が落札。入札は1社。

2004.6 民間業者の宅地造成に先立ち、発掘調査が行われる。

2004.9.21 日本考古学協会が「調査の継続と残存文化財の保護」を求めて要望書を文化庁、県知事、市長宛に提出。10月の再要望書に対しても市の文化財保護課は「調査は終了した」との見解。

2004.9.30 2週間の調査延長にもかかわらず未調査部分を多く残したまま調査期間が終了となる。

2004.12 さいたま市議会で「馬場小室山遺跡」の保全と活用について岡真知子、鳥海敏行の両議員が提案。教育長が「市の史跡として指定する方向で検討する」と答弁。

2005.1 三室公民館で「小室山セミナー」開催。12月から毎月のワークショップ開催。

2005.3 東側に残った市有地部分が、「馬場小室山遺跡」としてさいたま市の指定文化財史跡となる。

2005.6 「馬場小室山遺跡に学ぶ市民フォーラム」開催に向けて事務局がスタート。

どうか多くの方々のご支援、ご協力をお願いします！

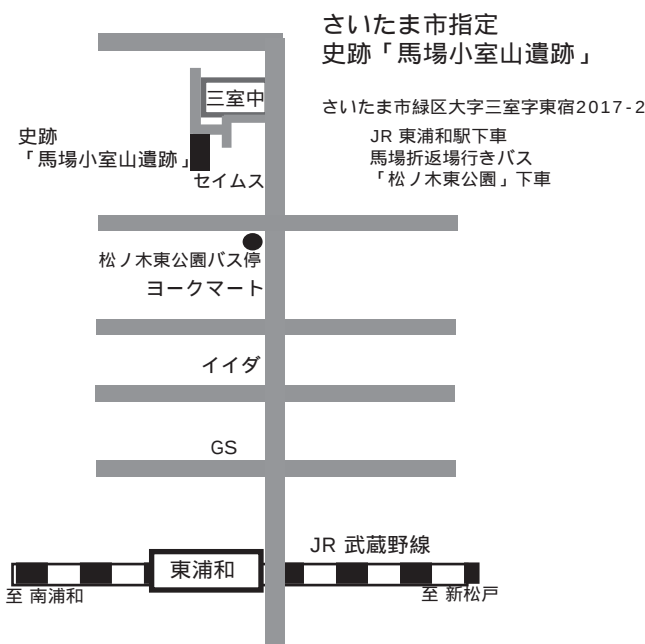
多くの方々のご支援で、より充実したフォーラムを実現するために、ご厚志を募っています。

一口 5,000円

振込口座

さいしん大東支店 店番038 普通 0887358
馬場小室山遺跡に学ぶ市民フォーラム 会計 宮沢さかえ

ご厚志一口以上の方は実行委員として銘記させていただきます。



2005年6月12日

「馬場小室山遺跡に学ぶ市民フォーラム」実行委員会 事務局

（事務局は現在 発起人による23名体制です）

ホームページ<http://homepage1.nifty.com/sawarabi>
<http://www.geocities.jp/chibaiseki>
<http://www.omuroyama.info>

事務局所在地 〒336-0911 さいたま市緑区三室 1972-9 東大能研 内

実行委員会へのお誘い

2005年

10 / 2
(日)

馬場小室山遺跡に学ぶ
市民フォーラム

会場 さいたま市緑区「プラザイースト」



2005.5.4 馬場小室山遺跡 自然観察会

「馬場小室山遺跡に学ぶ市民フォーラム」実行委員会